



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第115号令和4(2022)年12月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ビブリオバトル」を開催しました

図書館・リベラルアーツセンターでは、「ビブリオバトル 2022」を11月3日(木・祝)に、高専祭の中のイベントとして11時からロータリーステージで開催しました。

ビブリオバトルについての説明は、「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」やYouTubeの動画などを参照してください。(昨年度の様子は、『としょぶらり』第112号に掲載しています。)

今回の出場者(バトル)は下記の7名でした。

学年・クラス・名前(発表順)	紹介図書(著者)
3E 松本 颯人	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。(青柳碧人)
3E 野田 柚月	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ(TEX 加藤)
3E 王 梓安	神鵬剣俠(しんちょうけんきょう) (金庸(きんよう))
3D 三井 朱寧	君のクイズ(小川哲)
1-3 福住 陽路	日本以外全部沈没(筒井康隆)
1-3 阿部 奏	探偵が早すぎる(井上真偽)
3D 三宅 智仁	精霊の守り人(上橋菜穂子)

プレゼンの時間は1人・3分間で(公式ルールは5分間)、出場者が本を持参して、ロータリーの石の上で発表しました。

図書委員長の4A 川部知歩さんが司会を務め、ルール説明や出場者の紹介をし、図書館スタッフがタイムキーパーなどの補助をしました。

図書委員会(10月)で今年度のビブリオバトルをいつ行うかを話し合った際、高専祭で実施すれば多くの人に見てもらえてよいのではないかという意見が出され、みんなの賛同を得て高専祭で初めて行うことになりました。



ビブリオバトルの様子

ビブリオバトル

幸い天候に恵まれ、屋外で注目を浴びたものの、高専祭の他のイベントや出展(出店)に関わったりそれらへ移動したりする学生たちが多く、ビブリオバトルを最初から最後まで観戦してくれる方は残念ながら少ない状況でした。出場者も、一室の静かな環境で本の紹介をしたかったようです。



ビブリオバトルの様子

ともあれ、出場してくれた学生、立ち止まって観戦していただいた来場者の皆さん、関係者の方々、ありがとうございました。

なお、通常のビブリオバトルでは、それぞれの本の紹介の後、質疑応答の時間を取り、また、「一番読みたくなった本」という基準で参加者が投票を行って「チャンプ本」(最優秀賞)を決めますが、今回は省略して出場者全員に参加賞を贈ることにしました。

★出場者の感想を掲載します。

この度ビブリオバトルに参加してすごくいい体験だったと思いました。まずは人々の前で何かを発表する機会が少なく、少しの緊張はありましたが自分を鍛えるチャンスだったので楽しかったです。そしてみんなに自分が好きな本を紹介して、みんなが面白いと感じてもらうことだけでもやり甲斐があったと思います。(王)

今年のビブリオバトルは高専祭で行われたので、例年よりも多くの人に聞いてもらえてうれしかったです。今回、自分の趣味と絡めて楽しく紹介文を書くことができたし、より多くの人前で話す練習にもなったので良かったです。他に紹介されていた本も小説だけではなく、いろいろなジャンルがあって面白かったです。(三井)

1年生の時以来のビブリオバトル出場でした。ノリで決めたので本も一人だけ別ジャンルでした。高専祭での発表でかなり焦りましたが、ぼちぼち出来たんじゃないかなあとと思います。楽しく紹介できて良かったです。図書カードがもらえてうれしいです。(野田)

ビブリオバトルに出場するにあたって、僕は2回ビブリオバトルの経験があったので何とかなるだろう、と楽な気持ちで本番に臨みました。しかし、ロータリーのステージのような不特定多数の人の前で話したことはなかったので、本番はかなり緊張しました。でも、いざ話し出すと緊張は解け、逆に僕の心は興奮を抱き始めました。そしてそのまま最後まで話しきってしまった後、僕はとても満ち足りた気持ちでした。来年はもっと多くの人に参加して、たくさんの本に出会いたいです。(福住)

僕はビブリオバトルを今までたくさん経験してきましたのですが、今回ほどのたくさんの方に聞いてもらったのは初めてだったのですごく緊張しました。ですが僕たちのビブリオバトルを見て、少しでも本に興味をもってもらえたらうれしいです。参加させていただきありがとうございました。とても楽しかったです!!(阿部)

過去に図書館でこじんまりとした中でのビブリオバトルは経験したことがありましたが、高専祭でのビブリオバトルはその時と比べて何倍も緊張しました。特に今回は、ロータリーの真

ビブリオバトル・読書感想文コンクール

途中で発表という形で他の通行人の視線がもろに刺さり発表中ととてもつらかったです。発表中は全く台本など考えず、ぶっつけ本番で挑んだので時々詰まるところはありましたが、いい経験にはなったのかなと思いました。(松本)

僕は今回、初めてビブリオバトルというものに参加しました。他の学年の方で授業の中で行ったという方もいましたが、僕はそういったこともなかったので非常に緊張していました。僕が今回、紹介したのは精霊の守り人という作品で

す。本当は闇の守り人というこのシリーズの2作目の作品であり、僕の愛読書を紹介したかったのですが、手元に今なかったためにシリーズ1作目であるこの作品にしました。本番では原稿を途中までしか作成していなかったため、半分アドリブになってしまい、かなり焦りました。しかし、好きな作品を語るということで心理的なハードルも低かったのか、個人的にはかなり上手くいったと思っています。今回の機会を通して自身としても少し成長できた気がしているので良かったです。(三宅)

全国高等学校ビブリオバトルの鳥取県大会が12月11日(日)に倉吉市で開催されましたが、今回は本校からの出場者はいませんでした。

「読書感想文コンクール」の入賞作品を紹介します

図書館では、本科1年生を対象に、国語科の協力を得て、今年度も「読書感想文コンクール」を開催しました。学生が自由に選んだ図書について、原稿用紙(400字詰)3枚以上5枚以内で感想文を書き、夏季休業後に提出してもらいました。

応募作品数は158あり、1次審査で、各クラスから3～5編を選定し、20作品が2次審査にノミネートされました。

2次審査では、その中から審査員が順位をつけ、下記のように入賞者を選びました。最優秀賞・優秀賞は、複数の審査員が高く評価した作品です(作品の後に選評も掲載しています)。

11月22～28日開催の図書館運営委員会で最終審査・決定し、12月6日に校長室で表彰式を行いました。



表彰式

最優秀賞			
クラス	名前	読んだ本	著者
1-2	北尾 夏帆	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ
優秀賞			
1-1	三島菜都子	両手にトカレフ	ブレイディみかこ
佳作			
1-1	井上 莉杏	カラフル	森絵都
1-1	古賀 華	星の王子さま	サン＝テグジュペリ
1-2	坂本 奈優	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛
1-2	堀場 晶姫	名前探しの放課後	辻村深月
1-3	田村 綾梨	幕が上がる	平田オリザ
1-4	原 花楓	まだ見ぬ春も、君のとなりで笑っていたい	汐見夏衛
1-5	鶴亀琥太郎	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ

最優秀賞と優秀賞の作品（読書感想文）を掲載します。

最優秀賞 五二ヘルツの声

1—2 北尾 夏帆

「52 ヘルツのクジラ。」その声を聞いて私は「今にも泣き出しそうなくらい悲しく、弱々しい声」だと感じた。「52 ヘルツのクジラ」とは普通のクジラと声の高さ（周波数）が全く違って、他のクジラたちに声が届かない、世界で一番孤独だと言われているクジラである。本の中では「孤独の象徴」として描かれていて、主人公の三島貴瑚や彼女に匿われる少年・52（本名・愛）を表している。



長い虐待に耐え、生きづらさに苦しむ二十代の女性、貴瑚が移住先で、育児放棄され声が出せなくなった少年、愛と出会う。貴瑚は自身のかつての姿と少年を重ね合わせて、聞き逃した声に対する贖罪として少年を助け出す試みを行っていく。「孤独」に苦しめられる二人が出会い、安らぎを得ていく。それは明るく素敵な物語だが、私はこの本を読みながら、心が痛んだ。

私が中学の頃、いつも優しく笑っているととても明るい性格の友達がいた。だが、彼女は精神を病んでしまい、ある日から学校に来なくなってしまった。彼女は不登校になる前に「父親が厳しくて怖い。」という話をしてくれたことがあった。しかし、私はどのように返事をすればよいか分からず、曖昧な返事でお茶を濁してしまった。今になって思うと、彼女は「52 ヘルツの声」で私に「助けて。」と必死に叫んでいたのだと思う。

彼女は本の中の、過去の貴瑚に似ている。貴瑚の声は偶然再会した高校時代の友人の美晴と美晴の同僚のアンさんに届いた。それから、美晴やアンさんによって貴瑚は実家での虐待と奴隷生活に終止符を打つことができた。美晴やアンさんに救われていく中で貴瑚は「今まで誰が、わたしにそんなこと（優しいこと）を言ってくれただ

ろう。誰がわたしを救い出してくれたんだろう。」と考えた。私はその言葉で胸が痛んだ。「私が曖昧な返事をした時、彼女はどれほど絶望したのだろう。」と。貴瑚がそうであったように、誰も助けてくれない「孤独」は心に染みついてしまう。私が美晴たちのように彼女の声を聞いていたなら、心の中に踏み込んでいたなら、彼女の心の「孤独」の染みを薄めることができたのかもしれない。

私はこの本を読んで、「行動を起こすことの大切さ」について気付かされた。街中で、ボロボロの服を着て血色の悪い顔をしている女性がいる。私は声をかけようか迷うが、最終的には「関わらないほうがいい。」と感じて逃げてしまうと思う。でも、本の中のアンさんはその女性の異変に気付き、美晴と声をかけた。その女性こそが貴瑚であり、アンさんが声をかけたことがきっかけで貴瑚は救われた。また、救われる側だった貴瑚もアンさんの行動力に影響を受けて、愛を助けるために様々な行動を起こすようになった。このように「行動を起こす」ことは、状況を変えるだけでなく、周りの人にも良い影響を与えることができる。だから、私は「行動を起こさないと何も変わらないから、目の前にある問題を頭で悩む前に、まずは少しだけ行動を起こそう。」と考えるようになった。

人には様々な悩みがあり、その悩みを誰にも相談できずに一人で苦しんでいる「52 ヘルツのクジラたち」が世界中にたくさんいると思う。人は一人で孤独に生きていくことなんてできない。だからこそ私は彼らに「52 ヘルツの声を止めないで。必ず誰かに届くから。一人で苦しまないで。」と伝えたい。

思えば、この二年半余、自粛生活やマスク着用により、私たちの会話や交流が減り、人と人との隔たりが深くなった。学校生活でも様々な規制がされ、友達と親睦を深めることが難しくなっている。この生活により孤独を覚える人も多くいるだろう。そんな状況下だからこそ私は一度聞き逃してしまった「52 ヘルツの声」に耳を澄まし、彼らを救える行動を起こしていきたい。

選評

• 作品の主題と自分の経験を絡めて、感想文

に訴えかける力があつた。

- 本の内容を受けて自分の経験を振り返り、説得力のある内容になっていた。
- (北尾さん自身が) 今なら本当に返事ができるのか、などさらに掘り下げてみると深みが出たのでは。

優秀賞 小さな声に耳を傾ける社会へ

1-1 三島 菜都子

ヤングケアラーについてどこまで理解できているだろうか。ヤングケアラーとは病気や障がいを持った家族の介護や世話をしている十八歳未満の子供のことだ。私は最近「ヤングケアラー」という



言葉をテレビなどで聞く機会が増え、身の回りの情報だけで自分なりに解釈して分かった気になっていた。しかし、この本に出会い衝撃を受けた。それは想像をはるかに超える世界だと知ったからだ。そして現在不自由なく過ごしていることがどれだけ恵まれていることなのか痛感した。

主人公ミアはイギリスに住む十四歳の少女で母、弟と暮らしているが、母は酒に依存していて、介護が必要な状況になっている。そのためミアが家事や弟の迎え、母の介護をしている。つまり、ミアはヤングケアラーである。ある日ミアが図書館で日本人のカネコフミコという人の自伝と出会い、彼女の「世界」が少しずつ変化していく話だ。

私はこの本を読んでミアの家庭を守る責任感と覚悟に心を打たれた。私はいつも家では自分のことばかりで家事や料理をほとんど親に頼っている。しかしミアは誰にも頼ることなく家事や弟の迎え、母の介護を当たり前のようにして過ごしている。なぜミアはこれほど家族のために生活しているのか考えた時に私は一つの答えにたどり着いた。それは、ミアはずっとこの生活を送っているため、当たり前だと思っているかもしれないということだ。ずっとこの生活を送っ

ていたら自分がヤングケアラーだということに気が付かないだろう。私は現在もこのような問題が起きているのではないかと思う。世界の中のどこかにミアのような生活を当たり前のようを送り、誰にも相談できない子供がいると思うと心が痛い。私は今までの行動が恥ずかしくなった。学校や塾にも行かせてもらっているこの生活は有難いことだと改めて感じた。だからこそこの大切な貴重な時間を自分のことだけでなく、周りの人のためにも使おうと思う。

私はこの本を読んでいくうちに一つ疑問が生まれた。それはヤングケアラーの対策が昔と変わっていないことだ。この物語ではミアの住む世界と百年前のカネコフミコの住む世界が交互に書かれている。ミアはフミコの作品を読んでいくうちに同級生の誰よりもフミコが一番近い存在になっていくが、そのことは同時に百年前と状況が変わっていないことを表していると思った。なぜこのようなことが起きているのか考えてみた。

それはヤングケアラーについての情報が少ないからだと思う。最近になって様々なメディアが取り上げているが、ニュースなどで報じられていることはすべての生活を放送していないため、大変さや実際の状況が伝わりづらい。問題は昔から起きているのにヤングケアラーという言葉が日本で使われ始めたのは最近だ。それほど対策が進んでいないことが分かる。その理由として誰がヤングケアラーなのか把握できていないことが原因だと思う。状況が把握できないと対策の打ちようがない。私は安い金額で食事や学習ができる場所を増やすべきだと思う。その場所に同じような生活を送っている子供たちが集まれば少しでも心が軽くなったり、相談できる機会も増えたりすると思う。中でも私はすべての子供が学習できる場所を増やしてほしい。将来 AI などの技術が進み、人間の仕事が減ることによって人間に求められる仕事はより高度なものになると思う。しかし、それを求められるのは今の子供たちだ。今満足できる教育が受けられないと将来仕事ができず、差がついていく一方だ。私はこの問題を見逃してほしくない。そして、今すぐにでも動くべき問題だと思う。高齢化が進むとヤングケアラーになる子供は増えるだろう。

読書感想文コンクール・ブックハンティング

しかし、少子高齢化問題を解決することは時間がかかりすぎる。そのために少子高齢化を止める対策ではなく、どう付き合っていくのか考えることが大切だと思う。すべての子供が満足でき、活躍できるような世界になってほしいと心の底から思う。

私はこの本を通して貧困や、ヤングケアラーの現状について知ることができた。しかし、この問題は決して他人事ではないと思う。いつ家族の誰かが介護が必要な状況になるか分からないし、自分が介護される側にもなりえる。だからこそ普段の生活からは気が付くことのできなかった問題について知ることができ良かった。しかし、私はもっと早くこの問題について知っておくべ

きだったと後悔している。当たり前にも学校に来ていた友達の中にもヤングケアラーで悩んでいる人がいたかもしれないと思ったからだ。気が付かないだけで助けを求めていた人もいたかもしれない。もしいたとしたら私は何もできなかったし、声をかけることもできなかった。ミアのような生活を送る子供がいなくなり、小さな声にも耳を傾けるような世の中になってほしい。

選評

- 社会的問題を他人事ではなく自分事としてとらえていて評価できる。
- 現代社会の抱える問題についてきちんと考えている姿勢に好感を持てた。

ビブリオバトルで紹介された本、読書感想文コンクールの入賞作品で読まれた本は、図書館にあります(購入手続き中のものもあります)。どうぞ読んでみてください。

ブックハンティングによる購入図書のご案内

6月と7月にブックハンティングを行い、図書委員に実際に書店で選んでもらって購入した図書(下記の48冊)を配架しています。学生が作成した本の紹介ポップも添えてあります。(ブックハンティングの記事は、米子高専のホームページ「お知らせ」で既報です。)



書名	著者	書名	著者
心心(シンシン):東京の星、上海の月	石田衣良	百瀬、こっちを向いて。	中田永一
シンデレラ城の殺人	紺野天龍	野良犬の値段 上	百田尚樹
風を彩る怪物	逸木 裕	野良犬の値段 下	百田尚樹
マイクロバイ・アンサンブル	伊坂幸太郎	天久鷹央(アメクタカオ)の推理カルテ	知念実希人
マスカレード・ゲーム	東野圭吾	水車館の殺人	綾辻行人
無敵のコミュ術	ひろゆき	平家物語:犬王の巻	古川日出男
妖しきご縁がありますように	山吹	ジャイロスコープ	伊坂幸太郎
14歳の世渡り術 ショートショートでひらめく文章教室	田丸雅智	君を愛したひとりの僕へ	乙野四方字
未来の科学者たちへ	大隅良典、永田和宏	僕が愛したすべての君へ	乙野四方字
20代を無難に生きるな	永松茂久	精神科医が教えるすりへらない心の作り方	保坂 隆
同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	やりたいことが見つからない君へ	坪田信貴
論文の教室:レポートから卒論まで	戸田山和久	檸檬	梶井基次郎
もっと!京大変人講座	酒井敏ほか	虚構推理	城 平 京
パナの魅力を100文字で伝えてください:誰でも身につく36の伝わる法則	柿内尚文	本のエンドロール	安藤祐介
人は2000連休を与えられるとどうなるのか?	上田啓太	短編アンソロジー 学校の怪談	集英社文庫編集部

書名	著者	書名	著者
神薙虚無(カンナギウロム)最後の事件	紺野天龍	岩窟姫	近藤史恵
夜明けのすべて	瀬尾まいこ	食堂かたつむり	小川 糸
カケラ	湊かなえ	ミッキーマウスの憂鬱	松岡圭祐
爆弾	呉 勝浩	神モチバージョン「やる気」しだいで人生は思い通り	星 渉
正欲	朝井リョウ	夏の体温	瀬尾まいこ
invert : 城塚翡翠倒叙集	相沢沙呼	空想科学読本 1	柳田理科雄
余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話	森田 碧	あの人ひとりがこの世のすべてだった頃	ナ・テジュ
残像に口紅を	筒井康隆	海をあげる	上間陽子
その可能性はすでに考えた	井上真偽	くるまの娘	宇佐見りん



ブックハンティングの様子(今井書店錦町店)

部門推薦による図書のご案内

各部門(コース)から推薦された図書を図書館(交流プラザ)に配架しています。

①1・2年生にも分かりやすい入門的な図書、②3年生以上を対象とした探究的な図書、③当該部門(コース)に関連する、広く学生の興味・関心を喚起する図書、④高校生・大学生の時に読んでほしい図書、⑤教養を高められるような図書(リベラルアーツに関する図書)、⑥その他当該部門(コース)において学生に必要と考える図書です。

今年度は、M:19冊、E:12冊、J:19冊、C:21冊、A:17冊、G:31冊の合計119冊を購入しました。

1年生の専門コース選択の参考にしたり、リベラルアーツに触れたり、図書館を活用してほしいと思います。



部門推薦図書コーナー

令和4年度 KOSEN フォーラム・オーガナイズドセッションのご報告

国立高専機構による令和4年度のKOSENフォーラム(KOSENフォーラム2022)において、本校ではオーガナイズドセッションで「高専図書館のあり方を考えるーリベラルアーツの視点から」(9月5日(月)10時35分～)をオンライン(Teams)で主催しました。

図書館長・リベラルアーツセンター長(加藤)の趣旨説明の後、基調講演を筑波大学図書館情報メディア系講師の大庭一郎先生にいただきました。演題は、「高等専門学校図書館の基本機能：学生の研究

力を支えるリベラルアーツの育成」で、トピックスとして、高専図書館の研究、特徴、歴史、論点、サービス(悉皆調査の結果)、高専図書館を支える組織、学生の研究力を支えるリベラルアーツの育成、高専図書館のサービスの構成要素、課題について取り上げられました。

質疑・意見交換では、松江や茨城などの高専から発言いただき、高専図書館とリベラルアーツなどについて考える良い機会とすることができました。



オーガナイズドセッションの様子

【趣 旨】

高専は、教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備え、専任の職員や設備を備えるものと設置基準に規定されている。

インターネットが普及し、デジタル化が進む中で、図書館の位置づけ・役割や機能も見直しが求められているのではないかと。学生の図書館離れは進んでいないだろうか。

本校ではリベラルアーツ教育を推進しているが、図書館を活用して学生たちが読書などを通じて、世界観や倫理観を獲得し、価値観を創造し、自ら学ぶ態度を養ってくれるようにするにはどうしたらよいか。

高専図書館とリベラルアーツなどについて考えていきたい。

図書館業務・活動記録

- | | |
|---|---|
| 6月21日(火)ブックハンティング(1回目)
(今井書店錦町店) | 9月20日(火)臨時休館
(台風接近に伴う登校禁止のため) |
| 7月14日(木)～9月7日(水)
夏季長期貸し出し(特別貸出)の実施 | 10月4日(火)～
「卒論貸出」(対象:本科5年生・専攻科2年生、期間:1か月)の実施 |
| 7月19日(火)ブックハンティング(2回目)
(今井書店錦町店) | 10月13日(木)図書委員会(第2回)
(創造ゼミナール室2) |
| 7月27日(水)図書部会(第2回)
(創造ゼミナール室2) | 11月3日(木・祝)ビブリオバトル
(高専祭:ロータリーステージ) |
| 7月30日(土)・31日(日)・8月6日(土)・7日(日)
前期期末試験に合わせた開館 | 11月10日(木)読書感想文コンクール2次審査
(一般ゼミナール室) |
| 8月2日(火)図書館運営委員会(第1回)
(創造ゼミナール室2) | 11月22日(火)～28日(月)
図書館運営委員会(第2回)
(Teams 審議) |
| 8月12日(金)～19日(金)
臨時休館(一斉休業等のため) | 11月23日(水・祝)・26・27日(土・日)・12月3・4日(土・日)
後期中間試験に合わせた開館 |
| 9月5日(月)令和4年度KOSENフォーラム
オーガナイズドセッション「高専図書館
のあり方を考えるーリベラルアーツの視
点から」を主催《オンライン(Teams)》 | 12月1日(木)～22日(木)
冬季長期貸し出し(特別貸出)の実施 |
| 9月6日(火)臨時休館
(台風接近に伴う登校禁止のため) | 12月6日(火)読書感想文コンクールの表彰式
(校長室) |

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システムコース)、E…電気情報工学科(電気電子コース)、D…電子制御工学科、J…情報システムコース、C…物質工学科(化学・バイオコース)、A…建築学科(建築デザインコース)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「2-1(M)」は2年1組機械システムコースの学生を表しています。

発行：米子高専広報室

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ: <https://www.yonago-k.ac.jp/> 印刷: 東京印刷株式会社